



弘願院の前を通りかかった方々へ
ここに祀られているのは継承者や供養してくれる
者がおらず無縁となってしまった沢山の精霊です。
「南無阿弥陀仏」のお念仏を添えていただき、
あなたの優しい御心を回し向けてください。

「無縁仏」を「有縁仏」に。

浄土宗 弘願院

あんによう
安養
～弘願院だより～

撮影場所：弘願院無縁仏供養塔

梅雨の候、弘願院檀信徒ならびに「安養～弘願院だより～」をご覧の皆さまにおかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より弘願院の寺門興隆のために種々ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

全世界を脅かしている新型コロナウイルス、ここ日本は緊急事態宣言は解除されましたが、未だに感染事例は続いております。各地で苦しんでおられる方、また命を懸けて患者様の治療に当たっておられる医療従事者の方に想いを寄せるとともに、第二波への警戒を続けてまいりましょう。

「^かコロナ禍」

始めてこの文字が出てきた時に恥ずかしながら読み方に悩んでしまいました。「^か禍」とはわざわいを意味します。「^かコロナ禍」とは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が招いた危機的・災厄的な状況のことで、社会的・政治的・経済的な、混乱・不安・損失などを総称した言い方でありませぬ。

健康被害だけでなく、ご承知の通りイタリア、フランス、アメリカをはじめとする複数の国において非常事態宣言が発令され、感染封じ込めのために人々の行動（主に外出）を制限する「ロックダウン」（都市封鎖）の措置が取られた都市もあり、人々も行動の自由が著しく制限され、不満と不安を募らせている傾向が顕著になりつつあります。

日本でも人々がマスクを買うためにドラッグストアに長蛇の列をなし、他の国でもトイレトーパーや食料品の買い占め、住民が暴徒化しスーパーマーケットを襲撃する騒ぎまで起こっています。これが今我々が生きている世界で現実起こっていることであり、わが身に置き換えて反省しなければなりません。

浄土宗を開かれた法然上人がご在世の時代も戦乱、天変地異、疫病など想像できないほどの大変な時代でありました。法然上人八十年の御生涯の中で元号はなんと、**30回も**変わっているのです。

そんな中、「南無阿弥陀仏」のお念仏の教えを命を懸けて伝えられた法然上人の想いや教え、仏教を開かれたお釈迦さまの教えを今一度大切に頂戴し、我々が正しく生活していく指標とするべきではないでしょうか。弘願院のお地蔵さまの赤い前掛けに次のお経を書いています。

ぶつてんえいご かへんいふく びょうそくしょうめつ しだいきょうあん
「仏天衛護 禍変為福 病即消滅 四大軽安」

（仏天の加護により、禍を転じて福となし、病が消え、体調が整い安らかならんことを。）

この度弘願院が取り組みました写経に使わせていただいたお経です。仏さまにすがり、願いを捧げる。疑うことなく信じ、頼り切る。我々が大切にしなければならない「信仰」のあるべき姿を考えさせるお経であります。

弘願院 森岡 達圭

弘願院の取り組みが新聞に取り上げられました



北國新聞 2020年(令和2年)5月23日(土曜日)に掲載
(写真は違うお寺の僧侶です)

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月から弘願院で写経会を開催しようと計画しておりましたが、今もそれは叶っていません。外出の自粛など生活の一部が制限されるという今まで誰も経験したことのないようなこんな時にお寺として何かできないだろうか、お寺だからこそできることはないだろうか色々考えました。

そこで、お寺に集まれないならば、逆にお寺から発信してみよう。ということで4月下旬に檀信徒の皆さまに送らせていただきました「写経・写仏セット」ですが、どなたでも気軽に写経・写仏を通じて仏さまの教えに触れていただきたいと思い、弘願院山門前の自由配布ボックスに入れ、多くの方にお取りいただき、実際に納経いただいております。この取り組みが上記のような形で北國新聞さまに取り上げていただきました。また、MRO ラジオにもこの件で出演させていただき、今の想いやこの写経の取り組みについてお話させていただきました。

外出自粛により普段以上に我々テレビを見る時間が増えたと思います。コロナウイルスの話題を中心に国の政策とか様々な補償に関するニュースが多いですね。ニュースの内容というか雰囲気といいたいでしょうか、ほとんど共通しているのが、人と人を比べたり、国と国を比べたり、あのやり方とこのやり方を比べたり、その結果、平気で何かを批判するという場面が増えてきているように思います。それをこの期間ずっと様々なメディアを通じて我々はそういう様子を見たり聞いたりしている。そうするとこの我々自身が何かを疑ったり批判するのが当たり前になってしまうのではないだろうか、いつか経済は回復したとしても、肝心な我々の心というものがずっと荒んだままになってしまうのではないかと危惧しています。

我々一人一人が物事を正しく判断し、正しく行動に移す、そのために今欠けているのが仏さまの教えではないかなと、仏さまの教えを通じて、相手ではなくてこの自分自身をしっかりと見つめ直すことが必要ではないかなと思います。

弘願院では9月ごろから写経会の開催を予定します。またお日にちや詳細が決まりましたらご連絡させていただきます。

お盆のご案内

正式には「盂蘭盆会^{うらぼんえ}」といいます。お釈迦さまの弟子の目連尊者^{もくれんそんじゃ}という方が、神通力で亡くなったお母さまを探すと、餓鬼の世界で苦しんでいるのがわかりました。お母さまは生前、自分の子供を愛するがゆえに、他人の子供に対して物惜しみをしたりしていました。わが子を愛するあまり、歪んだ見方・考え方になっていったのでしょう。その執着した愛の結果として、母親は餓鬼道に落ちることになったのです。困り果てた目連尊者にお釈迦さまは「孝行をしたいと願うなら、自分を産んでくれた父母と、過去七世の父母のために、夏の修行が終わる七月十五日、修行明けの僧侶たちに食事を施し、供養してもらいなさい」と言われた。その通りにすると、お母さまは餓鬼の世界の苦しみから解放された。というのが「お盆」の由来です。

今年の日程は7月13日(月)～16日(木)がお盆の期間ですが、お仕事の都合でお参りが週末でないといわれないという方もおられると思います。よって2020年度の弘願院としてのお盆の期間は、

7月13日(月)～19日(日)

とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

※準備の都合により、必要なお花の数や塔婆の数は事前にお寺にご連絡いただけますと幸いです。

※お盆の準備(ポール立てや草抜きなど)を7月4日(土)早朝の7時から行います。(1時間30分程度。雨天中止。)

各ご家庭の若い世代の方でお手伝いいただける方はいかがご協力願います。(冷たい飲み物等準備いたします。)

弘願院のお墓参りにあたって

- ① まずは弘願院のご本尊である、阿弥陀さまにご挨拶をしましょう。(外から遥拝という形で結構です。)
- ② お墓の周りや花立、線香台、燭台、墓石を綺麗に掃除しましょう。掃除道具はお寺の玄関の中に準備しています。
- ③ お花を供え、蠟燭・線香に火をつけましょう。
- ④ 掃除やお供えが終わったら、一緒にお盆のお経をおとなえしましょう。お経は五分ほどのものです。
- ⑤ 本堂へお上がりいただき、阿弥陀さまに改めてご挨拶ください。その後、冷たいものを飲みながら少しお話ししましょう。

※ この方法はあくまでも弘願院での一例です。参拝の方法は各寺院によって異なります。

※ ほかの方とお参りの時間が重なると少しお待ちいただく場合もあります。ご了承ください。

お花と塔婆のご案内

| | |
|-------|------|
| お花 | 700円 |
| 水塔婆 | 300円 |
| 蠟燭・線香 | 無料 |

(蠟燭・線香はお寺備え付けのものがあります)

※キリコの販売はしていません。

※キリコの代わりに昨年^{みずとうば}から水塔婆を取り入れています。(右図参照)

- ① ○○家先祖代々や、ご供養させていただきます方の法名を記します。
- ② 施主様のお名前を記します。(誰がお参りに来られたかわかります。)

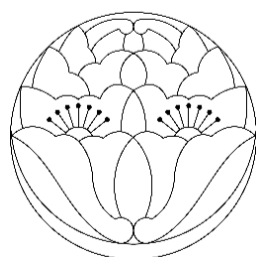


編集後記

新型コロナウイルスの影響により、外出自粛など今まで誰もが経験したことの無い事態が続きましたが、いつの間にか2020年になって早くも半年が経過しようとしています。

月日が過ぎるのがあっという間だと今年は特に感じます。

コロナウイルスの対策のみならず、これから暑い時期になりますので、熱中症に対しても十分に対策してまいりましょう。



浄土宗 安養山

ぐ がん いん

弘願院

〒921-8031 石川県金沢市野町1-3-87

Tel : (076) 243-8024 Fax: (076) 243-5165

mail : guganin.jodo@gmail.com



ホームページ



facebook



Instagram

※携帯電話のカメラを近づけてQRコードを読み取りください。

金沢市 弘願院

法然共生

「安養～弘願院だより～」

第8号

発行年月日 2020年6月8日

発行者 安養山 弘願院

住 職 森岡 達圭 ^{たっけい}